



CAREER
DESIGN

09

「人を助ける仕事をしたい」 高齢社会で必要とされる介護現場へ

短大で保育士と 介護福祉士を取得

中学校のころ、車いすを押している人を見かけて、その心温まる光景に「人を助ける仕事がいい」と思うようになりました。高校と短大では保育の勉強をしました。さらに1年間、短大で介護の勉強を重ねて介護福祉士の資格を取りました。今は、老人保健施設で利用者の皆さんの在宅復帰に向けて食事、入浴、排泄の介助をはじめ、生活リハビリや口腔ケアなどを担当しています。

情報のバトンを 医師につなぐ

現場では専門用語が多いので、毎日が勉強ですが、ささいなことでも笑ってくれる利用者の方の笑顔に励まされ、人と人の温かなつながりの中で、楽しく充実した時間を過ごしています。介護は高齢社会の中で最も必要とされている仕事の一つで、やりがいもたくさんあります。元気になって自宅に帰られるようになったりした時は、本当にうれしく思います。また、これからの時代に求められている知識や技術も仕事をしながら自然と身に付けることができます。フロアリーダーの日には、利用者の方の様々な情報を、医師や次の

担当者に引き継ぐ役割を担っています。人の命を預かっている責任を感じながら、しっかりと情報のバトンをつないでいけるように努めています。

住みやすい環境が 整う各務原

各務原市で生まれ、その後近隣の市に転居しましたが、小4のころから、また各務原市に戻ってきました。自然に恵まれていて、住みやすい環境が整っている街だと感じています。また、地元にいると、困ったときに気軽に相談できる友達が多く、近いにいたり、職場でも中学校のころの友達がいったり、良いことがいっぱいあります。

将来は子育てしながら 仕事もしたい

施設内には託児所があり、子どもたちもよく散歩をしています。保育士の資格も持っていますので、子どもたちと利用者の方が一緒に過ごせる企画を立てたいです。将来は、結婚して子育てしながら仕事も続けていきたいです。現場で働いてみると、楽しいこともたくさんあり、視野も広がりました。学生時代は実習に行く機会もあると思いますが、実習の経験を生かして、自分にとって合った職場に進んでほしいと思います。



下野 瞳さん

各務原市出身。中部学院大学短期大学部幼児教育学科、同専攻科(福祉専攻)卒業。2014(平成26)年入社。保育士、介護福祉士。主に在宅復帰に向けた利用者の食事、入浴、排泄の介助、生活リハビリ、口腔ケアなどを担当。

老人保健施設サンパレーかかみ野

【HP】 <http://phoenix-g.jp>

〒509-0108
各務原市須衝3丁目136番
TEL.058-370-7777

【事業内容】ケアプランに基づいた介護サービス、医学的管理・看護、機能訓練(リハビリテーション、アクティビティ)、食事、入浴(介助を要する方には特別浴槽で対応)、相談援助サービス
【設 立】2000(平成12)年8月【従 業 員】390人
【資 本 金】特定医療法人・社会福祉法人のため無し